

令和 8年度予算見積調書

課室名：文化財・博物館課

担当名：総務・調整担当

内線：6919

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P23	さいたま文学館運営費			一般会計	教育費	社会教育費	社会教育施設費	さいたま文学館費	
事業期間	平成 9年度～	根拠法令	さいたま文学館条例		針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	4, 11
					分野施策	0803	文化芸術の振興	SDGsターゲット	4-7, 11-4
1 事業概要 県民の自主的な文学活動を支援するため、文学に特化した施設であるさいたま文学館を円滑に運営する必要がある。そのため、文学作品その他文学関係の資料の収集、保管及び調査研究を行い、県民の文学活動の振興を図るとともに、施設の適正な管理を行う。 指定管理委託料 149,561千円				5 事業説明 (1) 事業内容 さいたま文学館を適正かつ円滑に運営する。 人件費、運営事務費、施設管理費、展示室運営・普及事業、図書室運営費、資料整理費、広報費、一般事務費 (2) 事業計画 ア 普及事業(講演会、講座)の実施 イ 文学図書室の運営 ウ 企画展及びテーマ展の開催 エ 文学資料の収集及び保管、調査研究 (3) 事業効果 ア 企画展、講座、講演会などを実施することによる施設利用者の増加□ イ 県民の自主的な文学活動の促進 令和3年度施設利用者数:26,538人 令和4年度施設利用者数:40,648人 令和5年度施設利用者数:50,394人 令和6年度施設利用者数:42,258人 令和7年度施設利用者数:55,500人(見込み) 【活動指標(アウトプット)】企画展の開催(4回)、資料収集(約3,000点) 【成果指標(アウトカム)】年間施設利用者数の増(令和8年度 61,000人) (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 公募により選定した指定管理者により、館の運営を行う。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4.2人=39,900千円									
予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との 対比	
		使用料・手数料	諸 収 入						
決定額	149,561	479	500				148,582	△8,438	
前年額	157,999	457	125				157,417		

事業内訳書

事業名	さいたま文学館運営費		
単位事業名	指定管理委託料	予算額	149,561千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び手数料・ 行政財産使用料	479	22	行政財産使用料 カフェ
諸収入・ 雑入	500	375	ネーミングライツ収入
一般財源	148,582	△8,835	
合計	149,561	△8,438	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	149,561	△8,438	指定管理委託料
合計	149,561	△8,438	